

令和6年度 えびの市立飯野中学校「学校評価」

学校関係者評価について

＜学校運営協議会 会長 下別府 敏則＞

今年度の飯野中学校の教育課程特例校における学校評価「自己評価」の結果を踏まえて、学校運営協議会において「学校関係者評価」を実施しましたので、その結果をお知らせいたします。

1 学校における学校評価の取組について

飯野中学校では、年度当初に生徒や保護者に学校評価の評価項目を提示するとともに、年2回のアンケート調査の結果を踏まえて、多面的・多角的な視野にたって学校の教育活動を振り返っており、適切に「自己評価」がなされていると思われます。

また、「自己評価」と「学校関係者評価」の結果を保護者に広く公表し、今年度の成果や今後の方針を周知するなど、学校評価の取組を計画的に推進していると認められます。

2 学校関係者評価の結果

【4段階評価】 4：期待以上 3：ほぼ期待通り 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

4つの観点①	【学力向上】	
	項 目	評価
(1)	生徒は、授業や学校の教育活動において、飯野中スタンダード(2分前着席、机の整理・整頓、立腰)を守り、目的意識をもって勉強し学力向上に努めている。	3.3
(2)	生徒は、家庭において自分で決めた時間に、きちんと宿題や家庭学習(宅習)に取り組んでいる。	3.1
(3)	生徒は、本や新聞を読むようにしている。	2.4
(4)	学習充実期間やノーメディア(9月と2月)などについて、学校と家庭が連携して取り組んでいる。	3.3
(5)	教員は、「わかる」「できる」授業の充実を目指し、日々授業改善に取り組んでいる。	3.6
(6)	教育課程特例校による「英語表現科」の時間の学習により、外国語能力の向上につながっている。	3.9
(7)	教員は、タブレット(ICT機器)等を授業で積極的に活用している。	3.7
学校運営協議会委員からのコメント		
(1) 学力向上に対して生徒の皆さんの意識が向上することで学校全体が良い方向に進んでいると感じます。それをサポートする先生方の声かけも大切で評価としてはほぼ期待どおりとなりますが、期待以上の手応えもあるかもしれません。		
(2) 自宅学習ノートの提出をやめ、主体性を伸ばすという取組に成果が出ている。ひとりひとりを伸ばしていく取組であり、高校進学後の学習指導にも関係してくると思いました。		
(3) 結果については、スマートフォンが日常に使用する状況となっているためだと思います。 (情報がデジタル化され、電子書籍等を使用するようになったこと)		
(3) 紙面(本)を好む生徒とタブレットを好む生徒等がいると思います。今の中学生にとって、どちらを活用することで読解力が身に付くのか、今の段階では分かりません。また、今の中学生が社会人になる頃に、日本全体がどうなっているのかも不透明であることを考えると、しばらくは、両方を上手く活用しながら読解力の定着に繋げてほしいと思います。		
(7) 参観日に授業等を参観しましたが、どの授業も先生方がICT等の活用を含め、様々な工夫をされていて、生徒が生き生きと授業に取り組んでいました。		
4つの観点②	【豊かな心の育成】	

項 目	評価
(8) 生徒は、立ち止まって相手の目を見てあいさつをしている。	3. 0
(9) 生徒は、友達のよさを見付け、思いやりの心をもって友達と楽しい学校生活を送るよう心掛けている。	3. 9
(10) 生徒は、毎日、自分の1日を振り返る時間をつくり、自分が頑張ったこと、反省すること、今後頑張りたいことなどについて考えている。	3. 2
(11) 生徒は、学校行事や係活動に意欲的に取り組んでいる。	3. 9
(12) 生徒は、友達や先生方、地域の方々のためになること(ボランティア活動等)を実践したりしている。	3. 3
(13) 教員は、「SOSの出し方教育」等に積極的に取り組み、一人一人の生徒に寄り添い、支援の充実につなげている。	3. 2
学校運営協議会委員からのコメント	
(8) 子供は大人を手本としますので、大人が(学校内だけでなく)身近で「お礼」や「お辞儀」のパターンを沢山見せることも大事だと思います。 (8) 立ち止まってのあいさつは、急いでいる生徒等は難しい。下校している生徒や部活動生はできている。 (8) 道路等ですれ違うとき、立ち止まってとはいいいませんが、きちんとあいさつをしてくれます。 (8) 登下校時や小中高連携で出会う生徒さんは、みんな礼儀正しく、挨拶も素晴らしい。生徒と教師のアンケート結果が大きく違うのは、なぜだろうと感じました。教員の求める姿の伝え方や、できた時の声掛けなどを見直してみてもはどうだろうか。 ○ 体育大会の様子を見せてもらい、友達と協力する姿や意欲的に取り組む姿を見て本当に素晴らしいと思いました。 ○ 豊かな心の育成の項目は、すぐに結果を伴う事ではないと思います。日々の生徒さん達の意識を高め、自然に自らできるようになることが3年間で学ぶことかもしれません。	

4つの観点③	【健康・体力の増進】
項 目	評価
(14) 生徒は、部活動やその他の活動など、意欲的に運動・スポーツに取り組んでいる。	3. 7
(15) 学校は、避難訓練(地震・火災・自然災害)等を計画的に行い、防災教育の充実に努めている。	3. 7
(16) 生徒は、歯磨きを実践してむし歯予防に努めるとともに、むし歯ができたら、進んで治療している。	3. 0
(17) 生徒は、自分で食事や弁当を作るなど、正しい食事の在り方や自らの健康管理について、意識しようとしている。	3. 2
学校運営協議会委員からのコメント	
(15) この項目は、とても大切な事です。今、起こっている日本の災害をとおして、学ぶ事も大切なことだと思います。 ○ 概ね良いと思う。 ○ 部活動でも素晴らしい結果を残すとともに、今年度は防災教育についても新たな取組をされ、常にアップデートできていると感じました。 ○ 「食」の習慣を改善するのは容易ではありません。高校生でも大変です。私的で個人差があるので、年間をとおした継続した取組がやがて成果につながるのではと考えます。	

4つの観点④	【家庭・地域と連携した教育活動の推進】	
項 目		評価
(18) 学校は、学校だより、学年・学級通信の発行、安心メール、ホームページへの情報掲載などをおして、教育活動等を保護者及び地域へ情報発信している。		3. 7
学校運営協議会委員からのコメント		
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校だよりは自治会の回覧で楽しみに拝見させていただいています。 ○ 連携が取れていて非常に良い。 ○ ホームページもよく更新され、学校の様子がよく分かります。 ○ 保護者のみなさまからの評価が高くすばらしい。 		

3 学校関係者評価の総評
<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の協力を得ながら、先生方の御指導で今年1年間、飯野中学校の生徒の良さをフルに発揮できたと思います。まだまだ高みを目指してください。 ○ アンケートの項目によっては、生徒、保護者、教師の%が大きく異なるところがあり、捉え方がいろいろとあることを面白く感じました。 ○ 外で見ても、中で見ても飯野中学校の雰囲気の良いを感じます。子供の居場所になっていると思います。 ○ 先生方からのアンケート項目が100%という項目が多いのが素晴らしい。
4 その他
<ul style="list-style-type: none"> ○ 18項目もの評価項目でしたが、私の立場では、その場にはないので理解できない問いも多くて、我が家の現役中学生に手伝ってもらいました。「やらされている感が少しあるのでは？」と思っておりましたが、以外に中学生本人は目標を高くもって取り組んでいるようでした。多感で感傷的になりがちなこの年齢の子どもたちに、家庭では取り組めない人としての基本のルールを敷いていただき感謝しかありません。 ○ 義務教育の集大成となる中学3年間で、自主性、自立心を高めていくような学びがあると良いと思います。学校と家庭と地域とがもっとつながることができるようなになればと思います。